【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公開番号】特開2001-75703(P2001-75703A)
【公開日】平成13年3月23日(2001.3.23)
【出願番号】特願平11-246479
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/048　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/00　６５７Ａ
Ｇ０６Ｆ　3/02　３７０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月26日(2006.10.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表示画面上に所定のメニューを表示するメニュー表示手段と、
上記メニュー表示手段によって表示される上記メニューのうち階層構造のメニュー項目に対しては上記階層構造であることを示すアイコンを上記メニュー項目と共に上記表示画面上に表示する制御手段と
を具えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
上記情報処理装置は、
上記表示画面上に表示された上記メニューのうち複数の上記メニュー項目のいずれかを回転操作及び押圧操作によって選択するメニュー選択手段と、
上記メニュー選択手段によって選択された上記メニュー項目に対応した処理を実行する実行手段と
を具えることを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
上記制御手段は、三角形状の図形を上記アイコンとして上記メニュー項目の文字列における最終文字と隣接して表示することにより、下位階層のサブメニューが存在することを示す
ことを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項４】
上記制御手段は、上記メニュー項目の文字列の最終文字側を閉じることなく開放した形状の枠図形を上記アイコンとして上記文字列を囲うように表示することにより、下位階層のサブメニューが存在することを示す
ことを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項５】
上記制御手段は、上記メニュー項目の文字列における開始文字と隣接して上記アイコンを表示することにより、上位階層のメニューが存在することを示す
ことを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項６】

上記実行手段は、上記メニュー選択手段によって上記階層構造のメニュー項目が選択されたとき、当該メニュー項目から上位階層又は下位階層のメニューへ移り変わる様子をスクロール表示によって示す
ことを特徴とする請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項７】
表示画面上に所定のメニューを表示するメニュー表示ステップと、
上記メニュー表示ステップで表示される上記メニューのうち階層構造のメニュー項目に対しては上記階層構造であることを示すアイコンを上記メニュー項目と共に上記表示画面上に表示する表示制御ステップと
を具えることを特徴とする情報処理方法。
【請求項８】
上記情報処理方法は、
上記メニュー表示ステップで上記表示画面上に表示された上記メニューのうち複数の上記メニュー項目のいずれかをメニュー選択手段による回転操作及び押圧操作によって選択するメニュー選択ステップと、
上記メニュー選択ステップで選択された上記メニュー項目に対応した処理を実行する実行ステップと
を具えることを特徴とする請求項７に記載の情報処理方法。
【請求項９】
上記制御ステップは、三角形状の図形を上記アイコンとして上記メニュー項目の文字列における最終文字と隣接して表示することにより、下位階層のサブメニューが存在することを示す
ことを特徴とする請求項７に記載の情報処理方法。
【請求項１０】
上記制御ステップは、上記メニュー項目の文字列の最終文字側を閉じることなく開放した形状の枠図形を上記アイコンとして上記文字列を囲うように表示することにより、下位階層のサブメニューが存在することを示す
ことを特徴とする請求項７に記載の情報処理方法。
【請求項１１】
上記制御ステップは、上記メニュー項目の文字列における開始文字と隣接して上記アイコンを表示することにより、上位階層のメニューが存在することを示す
ことを特徴とする請求項７に記載の情報処理方法。
【請求項１２】
上記実行ステップは、上記メニュー選択ステップで上記階層構造のメニュー項目が選択されたとき、当該メニュー項目から上位階層又は下位階層のメニューへ移り変わる様子をスクロール表示によって示す
ことを特徴とする請求項８に記載の情報処理方法。
【請求項１３】
表示画面上に所定のメニューを表示するメニュー表示ステップと、
上記メニュー表示ステップで表示される上記メニューのうち階層構造のメニュー項目に対しては上記階層構造であることを示すアイコンを上記メニュー項目と共に上記表示画面上に表示する表示制御ステップと
を含むことを特徴とするプログラムを情報処理装置に実行させるプログラム格納媒体。
【請求項１４】
上記プログラム格納媒体は、
上記メニュー表示ステップで上記表示画面上に表示された上記メニューのうち複数の上記メニュー項目のいずれかをメニュー選択手段による回転操作及び押圧操作によって選択するメニュー選択ステップと、
上記メニュー選択ステップで選択された上記メニュー項目に対応した処理を実行する実行ステップと

を具えることを特徴とする請求項１３に記載のプログラム格納媒体。
【請求項１５】
上記制御ステップは、三角形状の図形を上記アイコンとして上記メニュー項目の文字列における最終文字と隣接して表示することにより、下位階層のサブメニューが存在することを示す
ことを特徴とする請求項１３に記載のプログラム格納媒体。
【請求項１６】
上記制御ステップは、上記メニュー項目の文字列の最終文字側を閉じることなく開放した形状の枠図形を上記アイコンとして上記文字列を囲うように表示することにより、下位階層のサブメニューが存在することを示す
ことを特徴とする請求項１３に記載のプログラム格納媒体。
【請求項１７】
上記制御ステップは、上記メニュー項目の文字列における開始文字と隣接して上記アイコンを表示することにより、上位階層のメニューが存在することを示す
ことを特徴とする請求項１３に記載のプログラム格納媒体。
【請求項１８】
上記実行ステップは、上記メニュー選択ステップで上記階層構造のメニュー項目が選択されたとき、当該メニュー項目から上位階層又は下位階層のメニューへ移り変わる様子をスクロール表示によって示す
ことを特徴とする請求項１４に記載のプログラム格納媒体。
【請求項１９】
表示画面上に階層構造のメニューを表示するメニュー表示手段と、
所定の操作子に対するユーザ操作を回転動作として入力させるための入力制御手段と、
上記メニュー表示手段によって上記表示画面上に表示された上記メニューのうち複数のメニュー項目のいずれかを、上記ユーザ操作に基づく回転動作に応じて選択するメニュー選択手段と
を具え、
上記メニュー表示手段は、上記メニュー項目の下位階層に複数のサブメニューが存在する場合、上記メニュー項目にサブメニューが存在することを示すアイコンを表示する
ことを特徴とする情報処理装置。
【請求項２０】
上記入力制御手段は、上記所定の操作子が押圧操作された場合に押圧操作信号を出力し、
上記メニュー表示手段は、上記複数のサブメニューが存在するメニュー項目が選択された状態で上記押圧操作信号が出力されると、上記複数のサブメニューのメニュー項目を表示画面上に表示する
ことを特徴とする請求項１９に記載の情報処理装置。
【請求項２１】
メニュー表示手段によって表示画面上に階層構造のメニューを表示するメニュー表示ステップと、
入力制御手段によって所定の操作子に対するユーザ操作を回転動作として入力させるための入力制御ステップと、
上記メニュー表示手段によって上記表示画面上に表示された上記メニューのうち複数のメニュー項目のいずれかを、メニュー選択手段により上記ユーザ操作に基づく回転動作に応じて選択するメニュー選択ステップと
を具え、
上記メニュー表示ステップでは、上記メニュー項目の下位階層に複数のサブメニューが存在する場合、上記メニュー項目にサブメニューが存在することを示すアイコンを表示する
ことを特徴とする情報処理方法。

【請求項２２】
上記入力制御ステップでは、上記所定の操作子が押圧操作された場合に押圧操作信号を出力し、
上記メニュー表示ステップでは、上記複数のサブメニューが存在するメニュー項目が選択された状態で上記押圧操作信号が出力されると、上記複数のサブメニューのメニュー項目を表示画面上に表示する
ことを特徴とする請求項２１に記載の情報処理方法。